

2019年2月12日
報告者 後藤

視察報告書

日時	平成31年1月18日(金)
訪問先	株式会社 ホーブ
	〒132-0034 東京都江戸川区小松川3-3-2
見学者	後藤

・イチゴの流通をメインにしている会社。

農産部会に子会社である「ジャパンポテト」がじゃがいもの商品紹介に来た事が発端。
麻薙係長が話の中でイチゴの方が得意だという情報を入手。商談を経て、取扱いとなった。

今まではマルタのとちおとめを取り扱ってきたが、ヤマト等宅急便での配送で荷扱いが悪く、
納品された時にはイチゴが中で転がって当たってしまい、品質が悪くなってしまっていた。
また宅急便での出荷なので、出荷から納品まで時間がかかり、熟度の管理も難しかった。

今回ホーブのイチゴの一番の利点は自社便を持っている事。毎日同じドライバーがイチゴ
だけを積んで丁寧に走っているので配送中の当たりがほとんどない。
またもう一つの利点は倉庫が江戸川区の小松川にある事。急遽の追加、また発注のミス
があっても対応する事が出来る。

今回の視察は通常業務の中で配達帰りに短時間で行かせていただいたので、簡単では
ありますが報告していきたいと思います。



倉庫内



仔ゴが保管されている冷蔵庫



とちおとめ



紅ほっぺ。高く積み上げられている。

- ・ 取扱い品種は主に栃木県産、静岡県産の「とちおとめ」と「紅ほっぺ」。
サイズはM(30粒)、L(24粒)、2L(20粒)の3種類(2Lは紅ほっぺのみ…)
熟度は「紅ほっぺ」の方が合わせやすいとの事。



出荷前にしっかり検品している。



- ・ しっかり検品して、自社便で出荷。
今までマルタのイチゴだと悪くて当たり前という意識があり、検品にかなりの労力を使っていた。今回のホープのイチゴは極端な話、こちらで検品せずに学校に納めても大丈夫なくらいのクオリティがある。作業時間の短縮にもなると感じた。
また、マルタのイチゴは4トレーごとの発注だったのでロスが出ていたが、ホープは発注数量通り、また学校別に分けての納品が可能。



他にも長崎、佐賀、熊本のイチゴがあった。

面白いところでは「淡雪」という白いイチゴもあった。行事の際に赤いイチゴと白いイチゴで「紅白イチゴ」という提案も出来るのではないかな。



輸入オレンジ、レッドグレープフルーツ



バナナ



キウイ



レッドグローブ、アボガド

- ・他にも輸入のオレンジ、グレープフルーツ、バナナ、キウイ等の取り扱いもあるが、食べ頃よりも若干青めでの取り扱いとの事なので、翌日使用の学校給食向けではないと感じた。

総括

- ・今まで宅急便の荷扱いの悪さから自社便で配達してくれるイチゴ屋を探していたが、やっと実現した。
品質も良いのだが、価格面でも値上げが続いていたマルタよりも安く仕入れられるので、販売面も期待出来る。
これからさらに学校向けに品質を高めていけるよう取り組んでいきたいと思います。